GPT-5.4が変える知財実務の未来：専門職の83%をカバーする新時代の到来

専門業務の83%で人間と同等以上の性能

実世界の経済価値を測る「GDPval」テストでベテラン専門職に匹敵する成果を実証。

事実誤認（ハルシネーション）を3割削減

情報の正確性が不可欠な知財業務において、信頼性が特段に向上。

PC自律操作と100万トークンの処理能力

PC自律操作と100万トークンの処理能力

アプリ連携や大量の文献解析をAIエージェントが自律的に実行可能に。

知財実務における具体的変革

従来の実務	GPT-5.4導入後の実務
特許調査: キーワード検索・手動整理	特許調査: AIによる自律的な検索・分析・集計
書類作成: ゼロからのドラフティング	書類作成: AIによる草案作成と人間による修正
専門家の役割: 情報収集・定型書類の作成	専門家の役割: AI出力の評価・戦略的意志決定

特許調査が「文脈理解」の第3世代へ

キーワード検索から、発明の要点を理解した高精度な意味的検索へと進化。

明細書作成・中間処理の戦略的支援

高品質なクレーム草案の生成や、拒絕理由に対する反論ロジックの構築を支援。

人間の役割は「AIの評価と意志決定」へ

定型業務をAIに任せ、人間は戦略策定やAIガバナンスに注力する。